

目指す生徒像：運動の合理的な実践を通して、合理的な運動についての知識を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高く持ち、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができる生徒

No.	1	2	3	4	5
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	各種競技のルールを理解し、自ら練習と自己・グループ内評価ができる。	各競技に対して、自己、及びグループの改善点を理解し、それを克服すべく合理的な練習を選び実践できる。	グループ活動や、準備、片付け等において、相互に指導し合い、励まし合いなど声を掛け合いながら活動ができる。	講座、及びグループ内において、率先して活動に参加をし、積極的に声かけをし、グループ活動をよりよいものにしようとして取り組むことができる態度がある。グループ内での自己の責任を果たそうとする態度がある。	
3年	・選択した種目について、そのルール、競技の特性をよく理解し、自ら練習計画を立案、作成することができる。 ・周囲の環境をよく観察し、安全面に留意して活動することができる。 ・幅広い知識から、自己評価、グループ内評価を行うことができる。	・自己、及びグループの特性を踏まえ、目標達成のための練習計画の作成、状況に応じた計画の変更判断の値にできる。 ・ゲームを通して発見された課題の克服に向けて練習のテーマを設定し、その種目を積極的に楽しもうとする態度がある。 ・ゲームにおいて、公平公正に取り組むことができる。	・設定した課題について、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。 ・グループ内でよく声を掛け合い、励まし合いながら活動ができる。 ・相互にアドバイスをし合い、目標達成に向けてグループのレベルアップを図ることができる。 ・グループミーティングでは、本時の反省や次時への取組について積極的に発言をし、目標達成に向けて自主、自発の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持つて活動をし、生涯スポーツの基礎を作ろうとしている。 ・班員のレベルに応じた活動ができる。	・準備、片付けなど自ら積極的に取り組み、活動の迅速な開始、終了に参与できる。 ・本時の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に活動するよう班員に促すことができる。 ・グループ内でよく声を掛けをし、チームワークを重視しつつ、自己、及びグループのレベルアップを図ろうとする態度が身についている。 ・グループミーティングでは、本時の反省や次時への取組について積極的に発言をし、目標達成に向けて自主、自発の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持つて活動をし、生涯スポーツの基礎を作ろうとしている。 ・班員のレベルに応じた活動ができる。	
2年	・種目について、そのルール、競技の特性をよく理解し、練習をすることができる。 ・安全面に留意して、適切な判断の下、活動ができる。	・練習テーマを明確にし、技術の習得とチーム方向上に向けた取組ができる。 ・与えられた課題に対し、自己、及びグループの特性に応じてアレンジされた練習をし、ゲームに生かすことができる。 ・活動後、自己評価をし、次時の目標設定ができる。	・設定された練習テーマについて、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。 ・グループ内で気づいたこと、改善すべきことを積極的に発言できる。	・授業の準備・片付けを積極的に取り組むことができる。 ・グループ内で発生した課題の克服に対し、積極的に取り組むことができ、班員の模範となることができる。 ・グループ内で積極的に発言をし、グループ活動を牽引することができる。	
1年	・各種目のルールを理解し、正しく実践することができる。 ・用具、施設、設備の特性を知り、安全に留意して活動することができる。	・活動の内容を理解し、自己、及びグループのレベルアップを図ることができる。 ・目標を設定し、目標達成に向けて積極的に活動ができる。 ・活動後、自己評価をし、次時の目標設定ができる。	・グループ内で積極的に発言をし、コミュニケーションを図ろうとしている。 ・設定された練習テーマについて、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。	・授業の準備・片付けを積極的に取り組むことができる。 ・積極的に活動に取り組み、自己の技能を高めようと努めているとともに、講座、及びグループ内での自己の役割、責任を理解し、行動することができる。 ・グループ内で積極的に発言をし、自己、及びグループのレベルアップに貢献しようとしている。	

目指す生徒像：個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を持つ生徒

No.	1	2	3	4	5
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	自己を取り巻く疾病、生活習慣、環境等の知識を習得し、その対策、対応方法、評価方法の知識を習得している。	個人での課題解決学習に取り組むことにより、今後の社会生活における健康・安全の課題克服に対する研究及び実践ができる。	自己が選択した課題の深い学習テーマについて、クラス仲間と情報共有を図るとともに、指導・助言・協力をし、グループ全体のレベルアップを図ることができる。 ・自己が選択した課題の深い学習テーマについて、クラス仲間と情報共有を図るとともに、指導・助言・協力をし、グループ全体のレベルアップを図ることができる。 ・論文作成において、要点的な内容をまとめる、研究の目的・研究方法・考察・まとめをわかりやすく伝えることができる。	個人研究の中で、クラス全体のレベルアップを図ることができる。 ・課題解決学習において、研究課題とその研究方法、問題点などをよく理解し、課題解決学習が円滑に行えるよう努力することができる。	現代社会における健康問題について、正しい知識を習得し、その課題と改善方法を考察し、社会に発信することができる。 ・習得した知識を元に、適切な意思決定・行動選択ができ、社会貢献に寄与することができる。
2年	・生涯を通じて健康、社会生活と健康を学び、その知識を、現状と課題を踏まえた考察ができる。 ・自己及び社会における健康問題に対して適切な意思決定・行動選択ができる。	・グループでの課題解決学習に取り組むことにより、今後の社会生活における健康・安全の課題克服に対する研究及び実践ができる。	・自己が選択した課題の深い学習テーマについて、クラス仲間と情報共有を図るとともに、指導・助言・協力をし、グループ全体のレベルアップを図ることができる。 ・論文作成において、要点的な内容をまとめる、研究の目的・研究方法・考察・まとめをわかりやすく伝えることができる。	・課題解決学習において、研究課題とその研究方法、問題点などをよく理解し、課題解決学習が円滑に行えるよう努力することができる。	・現代社会における健康問題について、正しい知識を習得し、その課題と改善方法を考察し、社会に発信することができる。 ・習得した知識を元に、適切な意思決定・行動選択ができ、社会貢献に寄与することができる。
1年	・現代社会と健康を学び、その内容に対して現状と課題を踏まえた考察ができる。 ・自己及び社会における健康問題に対して適切な意思決定・行動選択ができる。	・グループでの課題解決学習により、自身を取り巻く健康課題について研究し、合理的かつ実用的な解決方法を見出すことができる。 ・研究の過程で発見された新たな課題に対して解決していくことができる。	・設定した課題について、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で課題解決ができる。 ・相互にアドバイスをし合い、課題解決に向けてグループのレベルアップを図ることができる。 ・課題を出し合い、次時における研究方法及び分担などについて積極的に発言ができる。 ・研究発表会での質疑に対して、適切な応答ができる。	・課題解決学習において、研究課題とその研究方法、問題点などをよく理解し、課題解決学習が円滑に行えるよう努力することができる。	・現代社会における健康問題について、正しい知識を習得し、その課題と改善方法を考察し、社会に発信することができる。 ・習得した知識を元に、適切な意思決定・行動選択ができ、社会貢献に寄与することができる。

目指す生徒像：体育・スポーツの意義や役割、福祉社会でのあり方など、体育・スポーツ・健康学を幅広く理解し、社会のニーズに貢献できる生徒

No.	1	2	3	4	5
5つの 資質	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	自己と他者、あるいは自己と社会との関係性を客観的に把握し、より良い人間関係や社会を構築しようとする際に基盤となる幅広い教養を修得している。	体育・スポーツ科学の知識・理解を深め、技能・態度を身に付け、自己の知性を高め、課題を発見し、問題解決の方策を探ることができる。	グループで役割を分担したり、仲間を援助したり、仲間を協力し教え合うなど声を掛け合いながら活動ができる。	自らが規範を示し、仲間や組織に奉仕しながら目標を達成できる。	地域社会において健康や運動の役割を理解し、健康の維持推進のための実践力の向上を図ることができる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>習得した基礎的な知識、技術を生かし、戦略・戦術を自分たちで考え、試合運営も自分たちでできるようになる。</li> <li>より高い志願を組んで練習を工夫し挑戦することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力の向上についての課題の解決を図るために、動きを拡張させ、運動を工夫したり、運動を組み合わせたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったり、教え合ったりするなど、仲間と豊かに関わり合いながら、互いに役割を果たし、積極的に運動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーを中心に、オリジナルルールを作り、それを基に、グループごとにどの様に授業全体に結びつけていけるかを考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツは、身体の発達やその技術の維持、体力の向上といった効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果も期待できることを説明することができる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の必要性を認識し、積極的に運動やスポーツの合理的な実践に取り組み、心身や社会性に及ぼす効果、体力を高める必要性などを理解できる。</li> <li>各種目のルールを理解し、正しく実践できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の趣旨やねらい、適切な運動の行い方について理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。</li> <li>運動技能上達のための合理的な練習方法を理解し、実践できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>励まし合ったり、賞賛し合ったりする仲間と関わり合いながら、分じた役割を果たして積極的に運動に取り組むことができる。</li> <li>各種目の練習内容を理解し、仲間と確認をし、相互にアドバイスをしながら活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次から行っている生徒間で褒めることや励ますことを継続し、クラス全体が良い雰囲気の中で授業ができるようにする。</li> <li>男女という性差だけでなく、生徒の個々の意欲や技術レベルの違いを考えながらクラス全体が良い雰囲気の中で授業が進むにはどうしたらよいかを話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康と環境について、課題解決を指して、知識を活用した学習活動により、学校生活や地域・家庭生活といった表生活に活かそうとすることができ。</li> </ul>
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎体力、調整力や敏捷性を養いながら基礎的な運動能力や技術的な身に付けることができる。</li> <li>色々な種目のルールを学び、考えながら身体を動かすことも学ぶことができる。</li> <li>出来なかつたことが出来た時の楽しさを感じることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力とその要素について理解し、自己の体力の現状に忠じて課題を見つけて、合理的に体力を高めるための取り組みができる。</li> <li>運動技能の習得は、合理的な練習が必要であることを理解し、活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間との交流を主として、自分や仲間への気持ち、調整をしながら、楽しく気軽に身体を動かすから積極的に運動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人対個人では、技術レベルが高い生徒が他の生徒に対して教えることができる。</li> <li>小グループでは、ミスしたチームメイトへの積極的な励めることで、実技に対する不安感を取り除き、また、リーダーを中心にどのようゲームを進めるか、考え</li> <li>わざとでなくとも衝突したりしりしり相手のことを気遣うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツを実際に「する」視点と共に、「見る」視点や、「支える」という視点で多様な関わり方があることを踏まえ、運動やスポーツに積極的に関わることを</li> </ul>

No.	目指す生徒像：音や音楽によって何かを伝え合う喜びを感じられる生徒				
	1	2	3	4	5
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	芸術の歴史を通して高い芸術的価値を身に付けていること。	音楽の歴史を通して高い芸術的価値を身に付けていること。	歌謡(合唱)や器楽の演奏、作曲などの活動を通して、互いを理解し、高め合えることができること。	様々な音楽活動を通じて、主眼点を意識しながら、主体的に活動し、表現方法を模索すること。	生涯にわたって音楽を愛好する心を持ち、生活や社会との関わりを深めること。
1年	【創作】 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して表現することができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、実践しながら表現することができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、他者と協力してイメージを想起させることができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、多様なメンバーによる表現方法を創出し提案することができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、多様なメンバーによる表現方法を創出し提案することができる。
	【器楽】 様々な器楽の歌詞や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌唱することができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴とその表現上の効果を理解し、工夫して演奏できる。	【器楽】 Duet、重奏ともにお互いの価値観や考えをグループ内で議論し、よりよい表現を見つめ出すことができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。
	【制作】 音楽を形作っている要素とその働きを創意的に把握することができる。	【制作】 音楽を形作っている要素とその働きを創意的に把握することができる。	【制作】 他作についてお互いの価値観や考えをグループ内で議論し、自分の意見を他者に伝えることができる。	【制作】 音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【制作】 音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。
	【鑑賞】 作品の構造上の特徴や美しさの関わりを理解し、鑑賞することができる。	【鑑賞】 我が国の伝統音楽や海外の音楽と、それぞれの特徴について理解を深めることができる。	【鑑賞】 多種の音楽についてそれぞれのよさや美しさを自分の言葉で表現することができる。	【鑑賞】 多種の音楽について構造上の特徴や美しさとの関わりを理解し、自分たちの表現につなげるための方法を考えることができる。	【鑑賞】 多種の音楽について構造上の特徴や美しさとの関わりを理解し、自分たちの表現につなげるための方法を考えることができる。

No.	目指す生徒像：音楽活動を通して、自己のイメージや思いを伝え合ったり他者の意図に共感したりできる生徒				
	1	2	3	4	5
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	文化的・歴史的背景など広範囲で音楽に関与する音楽文化の理解を深められること。	様々な音楽活動を通して、よりよい表現方法を身に付けられること。	合唱や器楽アンサンブルなどの音楽活動を通して、互いを理解し、高め合えることができること。	様々な音楽活動を通して、主眼点を意識しながら、主体的に活動し、表現方法を模索すること。	様々な音楽活動を通して、互いを理解し、高め合えることができること。
3年	【歌唱】 様々な声楽法や表現の仕方を知り、曲に合った表現ができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、実践しながら表現することができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、他者と協力してイメージを身に付けることができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、多様なメンバーによる表現方法を創出し提案することができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、多様なメンバーによる表現方法を創出し提案することができる。
	【器楽】 様々な器楽の奏法を知り、曲に合った表現ができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を知り、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【器楽】 Duet、重奏ともにお互いの価値観や考えをグループ内で議論し、よりよい表現を見つめ出すことができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。
	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを創意的に把握することができる。	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを創意的に把握することができる。	【制作】 他作についてお互いの価値観や考えをグループ内で議論し、自分の意見を他者に伝えることができる。	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。
	【鑑賞】 作品の構造上の特徴や美しさの関わりを理解し、鑑賞することができる。	【鑑賞】 我が国の伝統音楽や海外の音楽と、それぞれの特徴について理解を深めることができる。	【鑑賞】 多種の音楽についてそれぞれのよさや美しさを自分の言葉で表現することができる。	【鑑賞】 多種の音楽について構造上の特徴や美しさとの関わりを理解し、自分たちの表現につなげるための方法を考えることができる。	【鑑賞】 多種の音楽について構造上の特徴や美しさとの関わりを理解し、自分たちの表現につなげるための方法を考えることができる。

No.	目指す生徒像：音楽活動を通して、自己のイメージや思いを伝え合ったり他者の意図に共感したりできる生徒				
	1	2	3	4	5
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	文化的・歴史的背景など広範囲で音楽に関与する音楽文化の理解を深められること。	様々な音楽活動を通して、よりよい表現方法を身に付けられること。	合唱や器楽アンサンブルなどの音楽活動を通して、互いを理解し、高め合えることができること。	様々な音楽活動を通して、主眼点を意識しながら、主体的に活動し、表現方法を模索すること。	様々な音楽活動を通して、互いを理解し、高め合えることができること。
2年	【歌唱】 様々な声楽法や表現の仕方を知り、曲に合った表現ができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、実践しながら表現することができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、他者と協力してイメージを身に付けることができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、多様なメンバーによる表現方法を創出し提案することができる。	【歌唱】 楽曲にふさわしい歌唱法について、多様なメンバーによる表現方法を創出し提案することができる。
	【器楽】 様々な器楽の奏法を知り、曲に合った表現ができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を知り、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【器楽】 Duet、重奏ともにお互いの価値観や考えをグループ内で議論し、よりよい表現を見つめ出すことができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【器楽】 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、多様なイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。
	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを創意的に把握することができる。	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを創意的に把握することができる。	【制作】 他作についてお互いの価値観や考えをグループ内で議論し、自分の意見を他者に伝えることができる。	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。	【制作】 音楽を形作っている要素の働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら、新たな方法を提案することができる。
	【鑑賞】 作品の構造上の特徴や美しさの関わりを理解し、鑑賞することができる。	【鑑賞】 我が国の伝統音楽や海外の音楽と、それぞれの特徴について理解を深めることができる。	【鑑賞】 多種の音楽についてそれぞれのよさや美しさを自分の言葉で表現することができる。	【鑑賞】 多種の音楽について構造上の特徴や美しさとの関わりを理解し、自分たちの表現につなげるための方法を考えることができる。	【鑑賞】 多種の音楽について構造上の特徴や美しさとの関わりを理解し、自分たちの表現につなげるための方法を考えることができる。

目指す生徒像：造形活動を楽しみ、自他の文化を尊重し、主体的に表現できる生徒

No.	1	2	3	4	5	
資質能力	幅広い深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識	
解説	表現と鑑賞の活動を通じて美術の楽しさや創造の喜びを味わうことができること。 美的感覚や価値観を育み、日常生活の中で主体的に表現したり鑑賞したりし、生涯を通じて美術を愛好していく心構えを持っていること。	美術の創造活動に関わる様々な能力(主題生成の能力・創造的に構想する能力・表現しながら更に構想を確め繰り返す能力・材料や用具の特性を生かして創意工夫して表現していること。	美術(表現と鑑賞活動)は、感性を養うだけではなく、社会の中で主体的に生きる力を育む活動であることを認識していること。	グループ単位で行う鑑賞活動等において、的確な判断や発言ができ、グループ活動を有意義で発展なものに導くことができること。	グループ単位で行う鑑賞活動等において、的確な判断や発言ができ、グループ活動を有意義で発展なものに導くことができること。	美術が新しい価値観を社会に発信することで、文化の流れを創造し、社会に貢献する働きや役割を持つことができること。
1年	<p>【A表現】 我が国及び海外の美術文化について理解を深め、それらを尊重し愛する態度を持つことができる。</p> <p>【B鑑賞】 我が国及び海外の美術文化について理解を深め、それらを尊重し愛する態度を持つことができる。</p>	<p>【A表現】 制作を進める過程において、想像力を働かせながらよりよい表現を模索して努力することができる。</p> <p>【B鑑賞】 芸術作品の良さを味わい、感動する心を持ち、互いの作品の優れたところを見つけようとすることができる。</p>	<p>【A表現】 グループワークの際に、教員と生徒、あるいは生徒同士でディスカッションを通してテーマや表現方法を決定することができる。</p> <p>【B鑑賞】 主体的に作品を鑑賞し、その良さや美しさを感じ取り、味わい、調べたり、討論や批評を合ったりすることを通じて作品に対する理解を深めることができる。</p>	<p>【A表現】 協働が求められる制作活動において、目標設定や共有の仕方、彼女の働き込み方などを自然発生的に発掘することができる。</p> <p>【B鑑賞】 目標の共有や、その目標の達成のための率先垂範、そして仲間にも働きかけ活動をサポートすることができる。</p>	<p>【A表現】 様々な制作活動等を通して、自己を高め、自然や美術作品、人間の歴史や風土などに興味・関心を持つことができる。</p> <p>【B鑑賞】 美術が想像力を育み、豊かな創造性をもたらすとともに、共感する心を通じ人間関係を豊かにし、非営利の社会の基盤となり得ることを理解することができる。</p>	

1年	<p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の表現方法や表現の仕方を学び、曲種に合った鑑賞方法を工夫することができる。</p> <p>【鑑賞】 様々な楽器の奏法を知り、曲に合った表現ができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p>	<p>【鑑賞】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の表現方法や表現の仕方を学び、曲種に合った鑑賞方法を工夫することができる。</p> <p>【鑑賞】 様々な楽器の奏法を知り、曲に合った表現ができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p>	<p>【鑑賞】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の表現方法や表現の仕方を学び、曲種に合った鑑賞方法を工夫することができる。</p> <p>【鑑賞】 様々な楽器の奏法を知り、曲に合った表現ができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p>	<p>【鑑賞】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の表現方法や表現の仕方を学び、曲種に合った鑑賞方法を工夫することができる。</p> <p>【鑑賞】 様々な楽器の奏法を知り、曲に合った表現ができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p>	<p>【鑑賞】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の表現方法や表現の仕方を学び、曲種に合った鑑賞方法を工夫することができる。</p> <p>【鑑賞】 様々な楽器の奏法を知り、曲に合った表現ができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p>	<p>【鑑賞】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の表現方法や表現の仕方を学び、曲種に合った鑑賞方法を工夫することができる。</p> <p>【鑑賞】 様々な楽器の奏法を知り、曲に合った表現ができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【創作】 音楽を形作っている要素が如何にそれぞれに個性や特徴を持っているかを理解し、自分なりの思いや意図を持って演奏することができる。</p> <p>【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。</p>
----	---	--	--	--	--	--

目指す生徒像：造形活動を楽しみ、自他の文化を尊重し、主体的に表現できる生徒

No.	1	2	3	5
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	社会貢献の意識
解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標として設定した専門的知識・技能を有していること</li> <li>幅広い教養と基礎知識を有していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を多面的に捉えることができること</li> <li>課題を見つつけ、試行錯誤しながらより良い解決法を見つけて提案できること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性と協調性を持つて、コミュニケーションできること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内や国外の気候・事情について意識を高めていること</li> <li>社会とのかかわりを意識して作品制作に取り組むことができること</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【多様な空間表現】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>社会における美術の役割について考える</li> <li>空間表現の変遷や表現方法について理解して、表現方法を工夫して作品を制作できる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【寄せ木細工】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>線り返し模様を効果的に配置したデザインを考える</li> <li>制作全体を見通して効率良く制作できるように考え、実践できる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【相互鑑賞】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>他の作品から表現のよさを認め取り、その表現のよさを批評することができる</li> </ul> </li> <li>【寄せ木細工】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>制作手法のアイデアを共有することができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【社会の中のアート】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>アートイベントに興味をもち、機会があれば参加することができる</li> </ul> </li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>【寄せ木細工】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>日本人と木の関わりや伝統工芸について知る</li> <li>色と形と配置の効果について考え、表現することができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【多様な空間表現】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>空間を表現するために、色と形と配置の効果を生かして表現することができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【相互鑑賞】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の作品からその表現の良さを見つけることができる</li> </ul> </li> <li>【視覚伝達デザイン】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自己と社会との関わりにおいて課題を見つつけ、解決に向けて主体的に構想を練ることができる</li> <li>色と形と配置を使い、課題に対して適切な表現を選び作品にまとめることができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【多様な空間表現】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>透視図法と多様な空間表現について知る</li> <li>美術表現において、作者と社会との関わりについて読み解こうとすることができる</li> </ul> </li> <li>【90%のためのデザイン】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>Qドラムからデザインの可能性について考えることができる</li> </ul> </li> <li>【イメージを広げて】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>抽象表現について知り、社会とのかかわりと美術表現の変遷について知る</li> </ul> </li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>【日本の美意識】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の文化について身近な生活と照らし合わせて考え、その特徴を理解できている</li> </ul> </li> <li>【イメージを広げて】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>抽象表現について考え、材料の特性を生かしながら表現することができる</li> </ul> </li> <li>【日本の美意識】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>日本文化の良さを主体的に味わうことができる</li> </ul> </li> <li>【視覚伝達デザイン】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>色と形と配置を使い、表現上の特徴やねらいを読み解くことができる</li> </ul> </li> <li>【美術レポート】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>美術・博物館の社会的な役割について実際に訪問し、インタビュー等を通して調べられる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【イメージを広げて】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>抽象表現について知り、材料の特性を生かしながら表現することができる</li> </ul> </li> <li>【積み重ね】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>日本固有の素材を使い、素材の良さを生かした作品を制作することができる</li> </ul> </li> <li>【美術レポート】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>美術・博物館の社会的な役割や課題について知り、自分の意見を加えてレポートにまとめる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【相互鑑賞】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>他の作品の良さを見つけ、伝えることができる</li> </ul> </li> <li>【文字のデザイン】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>立体表現について主体的に構想を練り表現することができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【美術鑑賞】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>美術・博物館の社会的な役割や課題について知り、レポートにまとめ、プレゼンテーションができる</li> </ul> </li> <li>【美術鑑賞レポート】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>美術・博物館の社会的な役割や課題について知り、レポートにまとめ、プレゼンテーションができる</li> </ul> </li> </ul>
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>【鉛筆を使って】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>絵画表現における線と面の役割について理解する</li> </ul> </li> <li>【文字のデザイン】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>読みやすさや伝わりやすさ、文字のデザインについて知る</li> </ul> </li> <li>【美術鑑賞】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>着座型鑑賞などの鑑賞法を知り、実践することができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【デコゴイ】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>立体表現について主体的に構想を練り表現することができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【相互鑑賞】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>他の作品の良さを見つけ、伝えることができる</li> </ul> </li> <li>【文字のデザイン】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題について、アイデアが適切であるかどうかを話し合うことができる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【美術鑑賞】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>美術の社会的役割を知る</li> <li>美術鑑賞の社会的役割を知る</li> </ul> </li> </ul>



目指す生徒像： グローバルリーダーとして、様々な視点から情報を収集し、適切に課題を設定し、対話や議論を通じて社会貢献、国際貢献に寄与するための方策について英語で意見を交換できる。

No.	1	2	3	4	5
資質能力	幅広い深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会での日本を意欲し幅広い教養を有していること。</li> <li>ある物事を深く理解し、その背景や文化的な側面を英語で多く共有している。</li> <li>英語を通して物事を多面的に捉えることができる。</li> <li>英語を通して物事の関連性を発見することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P D C A サイクルを用いて自ら課題を解決することができる。</li> <li>与えられた情報を批判的に分析・評価し、課題を解決することができる。</li> <li>聞き手の人数など状況を踏まえ、アイコンタクトやジェスチャーなどを効果的に用いて意見を伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の発話に対し、必要に応じて質問や聞き返しなどが有意義にあり、それが対話や議論を促進している。</li> <li>自己の学習方法が確立しており、教師の働きかけがなくても自ら主体的な課題を設定し、さらに深い学びについて興味関心に基づいて学習している。</li> <li>世界や社会の様々な事柄を関連付けて、新たな情報を得ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考え方の違いや価値観、文化的差異を受け入れることができる。</li> <li>グループ内における役割を理解し、対等に議論できる。</li> <li>聞き手の人数など状況を踏まえ、アイコンタクトやジェスチャーなどを効果的に用いて意見を伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内や国外の表情、事柄について高い意識を有している。</li> <li>異文化を理解し、その知識を社会・国際貢献につなげることができる。</li> <li>自分たちの社会をよりよく見守るために、解決に向けて努力することができる。</li> </ul>
3年					
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した題材に書かれている情報を知り、適切に自己評価しながら、様々な情報を知っている。</li> <li>各レッスンで扱われている題材に関連した素材を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の学習を振り返り、適切に自己評価しながら、学習上の課題を設定することができる。</li> <li>学習上の課題に対して、具体的な対応方法が提示されている。</li> <li>複数のリーディング素材やリスニング素材から共通の話題や課題を見出し、他者と意見を交わしながら、課題への理解を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の発話に対して、不明な点について質問・聞き返しをすることができ、自分の考えを述べることができる。</li> <li>相手の様子を観察しながら、ジェスチャー、アイコンタクトなどを用いて、自分の考えを効果的に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク・ペアワークにおいて自ら主体的に役割を理解し、議論することができる。</li> <li>共通の目的達成に向けて他者に働きかけることができる。</li> <li>自分の価値観と衝突するものに対して、その存在を認めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の問題について学び、我が国だけでなく他の国や自分や自分以外の立場から論理的に考えることができる。</li> <li>その問題について自分と学び、その現状を理解することができる。</li> </ul>
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>扱われている話題で頻りに使われる語句や表現を知っている。</li> <li>全体的な概念と具体的な情報が結びついて理解できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の学習を振り返り、適切に自己評価することができる。</li> <li>自己の学習上の課題を発見することができる。</li> <li>学習した内容に関して、課題や疑問点を見出し、他者と情報交換することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の発話に対して、不明な点を明らかにする表現を知っており、それを積極的に使用する事ができる。</li> <li>自分の考えを効果的に述べるためのジェスチャー、アイコンタクトなどの手法を知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク・ペアワークにおいて与えられた役割を果たすことができる。</li> <li>共通の目的達成に向けて手段や方法を探ることができ、多様な文化や価値観に関心を示すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の問題について学び、その現状を理解することができる。</li> <li>その問題について自分と学び、その現状を理解することができる。</li> </ul>

目指す生徒像： グローバルリーダーをめざし、様々な視点から情報を収集し、課題を正しく理解し、社会貢献・国際貢献に寄与するための意識を高め、英語で自分の考えを表明することができる。

No.	1	2	3	4	5	
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識	
解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会を正しく理解するための幅広い知識・教養を有している。</li> <li>英語を通して、物事を多面的にとらえることができる。</li> <li>英語を通して、物事に新しい発見をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P D C A サイクルを活用して自ら課題を解決することや、相手との違いや文化的な側面を客観的に分析し、課題を効果的に解決しようとする。</li> <li>議論・教養を効果的に活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の現状・事態から、自分で課題を発見・設定し、解決のために必要な情報を収集し、他のメンバーと共有して、建設的な案を構想できる。</li> <li>他者から提示された解決策について、多角的・多面的に捉え、より良い解決策について意見交換ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文と文のつながりや段落構成等を考慮し、具体例をあげたり、必要に応じて写真や実物の提示などを用いて自分の考えを伝えることができる。</li> <li>相手の立場や気持ちを見て、自分の反応を考慮し、相手との反応に合った適切な意見交換ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話や議論が円滑に行われるよう、相手の意見を引き出し、必要に応じて自分の考えを伝えることができる。</li> <li>グループワークやクラス全体を見て、自分の役割を考へながらコミュニケーション活動やフエアプレーットし、協働で新たなアイデアを生み出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構内外の現状を正しく理解することができる。</li> <li>文化や価値観の違いを受け入れることができる。</li> <li>自分自身の役割や立場を正しく理解し、課題を正しく解決することができる。</li> </ul>
3年						
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書及び発展教材等の内容を、国際的な文化の違いも含めて正確に理解し、思考を深めることができる。</li> <li>英語をツールとして、情報を収集・分析、根拠に基づいて整理し、自分の考えをもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での現状・美態から自分で課題を発見・設定し、解決のために必要な情報を収集し、その解決策を英語で提案できる。</li> <li>他者から提示された解決策について、理由を付けて賛否を表明し、自分の考えを表明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文と文のつながりや段落構成等を考慮し、具体例をあげたり、必要に応じて写真や実物の提示などを用いて自分の考えを伝えることができる。</li> <li>相手の立場や気持ちを見て、自分の反応を考慮し、相手との反応に合った適切な意見交換ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話や議論が円滑に行われるよう、相手の意見を引き出し、必要に応じて自分の考えを伝えることができる。</li> <li>グループワークやクラス全体を見て、自分の役割を考へながらコミュニケーション活動やフエアプレーットし、協働で新たなアイデアを生み出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通して、日本の課題やその解決策を理解することができる。</li> <li>グローバルリーダーとして、社会貢献に寄与するための方策を英語で意見表明できる。</li> </ul>	
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書及び発展教材等の内容を、国際的な文化の違いも含めて正確に理解し、思考を深めることができる。</li> <li>英語をツールとして、情報を収集・分析、根拠に基づいて整理し、自分の考えをもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの現状・美態から自分で課題を発見・設定し、理由を付けてその解決策を英語で提案できる。</li> <li>他者から提示された解決策について、賛否を表明し、自分の考えを表明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文と文のつながりや段落構成等を考慮し、具体例をあげたり、必要に応じて写真や実物の提示などを用いて自分の考えを伝えることができる。</li> <li>相手の立場や気持ちを見て、自分の反応を考慮し、相手との反応に合った適切な意見交換ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話や議論が円滑に行われるよう、相手の意見を引き出し、必要に応じて自分の考えを伝えることができる。</li> <li>グループワークやクラス全体を見て、自分の役割を考へながらコミュニケーション活動やフエアプレーットし、協働で新たなアイデアを生み出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通して、身の回りの課題やその解決策を理解することができる。</li> <li>グローバルリーダーとして、社会貢献のあり方について英語で提案できる。</li> </ul>	

目指す生徒像：循環型社会推進に向けて知識・理解のみならず、様々な場面においても自ら考えて行動し実践できる生徒

No.	1	2	3	4	5
資質能力	幅広い深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	人の一生と家族・福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、生活科学的に追究していくことができること。	生活の充実向上を図る能力が身に付き、家庭や地域の生活課題を適切に判断し、工夫し、創造し、主体的に解決することができること。	相手の活動を理解し、お互いの活動が取れ、連携を思いやりながら、連携してスムーズな活動を行うことができること。	生涯を見通して生活課題に対応した意思決定をとり、責任ある行動が取れるとともに、状況に応じた的確な判断ができること。	地球に生きる生物の一端として循環型社会推進のためにすべきことを理解し実践できること。
3年	・各分野において日本の文化・伝統とともに世界の各地域の文化等についても理解し、地球に生きる生物の一端として循環型社会推進のためにもあるべきか理解できる。	・家庭や地域の生活の中で生じる課題を生活活動や生活資源と関わりながら、主体的に解決することができること。	・各分野においてスムーズな実習が行え、必修課題(ホームプロジェクト)の効果的な発表ができる。	・各分野の実習等において、家庭生活を改善改善しようとする積極的な態度が身に付いている。	・各分野に関して、環境に於ける負荷の軽減や安全に配慮した消費行動の在り方について理解を深め、調理実習をはじめ、日常生活においても実践できる。
1年		・各自の家庭生活の中で課題を見つけてテーマを設定し、生活を充実向上させるために主体的に計画を立てて実践し、反省・評価をして次の課題へと発展させることができる。	・発表を意識しながら必修課題をレポートにまとめ、自分の実践内容を分かりやすく発表し、伝えることができる。	・班単位で行う実習活動などにおいて的確な判断や発言と、班全体を活動に導く力が身に付いている。	・家庭クラブ活動をはじめ、様々な社会貢献活動に積極的に参加する。

目指す生徒像：学習した事例を生活に生かし、自ら課題を見つけ、他者との共生を考えて判断し解決できる生徒

No.	1	2	3	4	5
資質能力	幅広い深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
解説	衣食住に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得し、個人の生活と社会や環境・資源との関わりについて理解できる。	社会や他者との共生の視点で、衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、工夫し創造することができる。	生活に関する知識、技術の習得、実践的・体験的な学習活動を通して、他者との関わりについて理解を深め、よりよい人間関係を築くことができる。	自立に向けて家庭生活に積極的に関わり、他者との共生の観点から家庭や社会をよりよくするために知識と技術を進んで活用できる。	環境、資源、社会と生活との関わりを考え、他者を思いやり、共に生きていくこととする態度を身に付けている。
3年	【布を用いた製作】ミシンの基本的な操作や基礎的の使用箇所と方法を理解できる。	【布を用いた製作】完成後の活用方法を考え、実際に活用方法について実践することができる。	【布を用いた製作】布を用いた製作に関する手順や作業方法について、グループ内で点検し合うことができる。	【布を用いた製作】布を用いた製作に関する技術を活用し、家庭生活を豊かにしようとしている。	【布を用いた製作】環境や資源に配慮した生活のために、補修技術を生かして、衣服の活用を実践することができる。
2年	【食品の選択】食品の品質の見分け方について理解できる。	【食品の選択】食品の品質を見分けるために必要な情報を読み取り、選ぶことができる。	【調理実習】実習を通してグループ内で手順に従い、相互に協力することができる。	【調理実習】先を見通して効果的・良しい実習を進めることができる。	【食品の選択】食に関する問題の解決に向けて日常生活で実践することができる。
1年	【家族と家族関係】よりよい社会を築く基盤としての家族の機能を理解できている。	【住生活と自立】家族の生活行為と住空間との関わりを理解し、安全で快適な住まいの整え方を理解できる。	【家族と家族関係】ロールプレイングを通して、家族関係がよりよくなるように、家族の気持ちや役割を考えたことができる。	【家族と家族関係】自分の将来について関心をもち、家族関係をよりよくするために、家族を大切にしようとしている。	【食文化】自分や家族の食生活について、家庭や地域の食文化について実践している。
3年	【私たちが暮らす環境】環境の役割として、家族の役割やおもちゃの意義を理解できる。	【幼児】幼児が育つ環境として、おもちゃや環境に合わせたおもちゃや工夫した製作ができる。	【幼児】ロールプレイングを通して幼児の発達段階に応じた様子を表現できる。	【幼児】幼児の生活に関心をもち、将来を見通して幼児との関わり方を考えている。	【幼児】社会の中での子どもが存在していることを理解できる。
2年	【私たちが暮らす環境】買物や契約の注意点から、消費者トラブルの具体的な対処法を考案することができる。	【私たちが暮らす環境】環境に配慮した消費生活から、消費者トラブルの具体的な対処法を考案することができる。	【私たちが暮らす環境】環境に配慮した消費生活について他者と積極的に意見交換し合うことができる。	【私たちが暮らす環境】環境に配慮した消費生活について積極的に意見交換し合うことができる。	【私たちが暮らす環境】環境に配慮した消費生活について積極的に意見交換し合うことができる。
1年	【健康と健康】健康の意義、食習慣の重要性や食事の役割、栄養の重要性について理解できる。	【健康と健康】健康の意義、食習慣の重要性や食事の役割、栄養の重要性について理解できる。	【健康と健康】健康の意義、食習慣の重要性や食事の役割、栄養の重要性について理解できる。	【健康と健康】健康の意義、食習慣の重要性や食事の役割、栄養の重要性について理解できる。	【健康と健康】健康の意義、食習慣の重要性や食事の役割、栄養の重要性について理解できる。

Global Can-do List (中学校 技術)

No.	1	2	3	4	5
目指す生徒像：社会において自分なりの工夫を生かして、学習した事柄を進んで生活の場で活用する能力や態度を身につけている生徒	幅広い深い敬養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
資質能力	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付け、技術と社会や環境との関わりについて理解できていること。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術の在り方や活用の仕方等についても、その解決のために工夫し、創造することができること。	ものつくりなどの実践的・体験的な学習活動の中で、主体的な関わりを通じて、他者との関わりについて理解を深め、よりよい社会を築くことができること。	実践的・体験的な学習活動の中で、主体的な関わりを通じて、他者や社会に貢献すること。	変化し続ける社会に主体的に対応しようとする意識を高められること。
解説	【水耕栽培】既存の栽培方法を最新の技術を用い、新たな栽培技術を考えることができる。	【水耕栽培】様々な環境条件と生物の育成についての技術を知り、育成計画を立てることができる。	【水耕栽培】個人で考察した新たな栽培技術をグループで発表し、他の意見を取り入れ、よりよいものに改良することができる。	【水耕栽培】現在の日本の食糧自給率を向上させるために、効率よい栽培方法を考えることができる。	【水耕栽培】現在日本の食糧自給率を向上させるために、効率よい栽培方法を考えることができる。
3年	【IT/MLの学習】 ・Webページの構造を理解し、ソースを読み取り、編集することができる。 ・多様なメディアを複合し、発信者として、著作権を理解して、正しい利用方法を理解できている。	【IT/MLの学習】 ・情報に関する技術に関わる倫理観を身に付け、積極的に情報を発信することができる。	【IT/MLの学習】 ・Web ページの構造を理解し、著作権を考慮し、情報発信をすることができる。	【IT/MLの学習】 ・Web ページの構造を理解し、著作権を考慮し、情報発信をすることができる。	【IT/MLの学習】 ・Web ページの構造を理解し、著作権を考慮し、情報発信をすることができる。
2年	【身の回りを整理する作品】 ・製品の材質や使用目的に合った採方法や、仕上げ方法を調べる。 ・材料加工において使用する工具の構造と使用方法を理解し作業できる。 ・工作機械の動力伝達と構造を理解した上で、機械作業の安全に配慮して作業を行うことができ、素材や用途に合った塗装や表面処理を理解して作業できる。	【身の回りを整理する作品】 ・製作図を基に、製作工程を考えた材料取りの計画を立てることができる。 ・材料に合わせた工具を適切に使い、正確に部品取りを加工することができる。 ・部品を加工するための工作機械の仕組みを理解して、安全に作業することができる。	【身の回りを整理する作品】 ・製作図や部品表を読み取り、相互に部品点検ができる。 ・作業の姿勢や材料の固定などを気づいたことを相互に表現することができる。	【身の回りを整理する作品】 ・製作図や部品表を読み取り、積極的に他者の部品点検ができる。	【身の回りを整理する作品】 ・使用者の安全に配慮した設計と製作を考えることができる。 ・社会や環境との関わりについて理解し、製作した作品を大切に長く活用しようとしている。

2年	【エネルギー変換】 ・エネルギー資源とその利用方法について調べ、よき点を挙げて、活用方法を提案することができる。 ・はんだごてを適切に利用して製品の取り付けができる。	【ダイナモ発電機の製作】 ・目的に応じて部品を組み合わせた電気回路を考案することができる。 ・回路計を使い簡単な電気回路の点検や故障箇所特定ができる。	【エネルギー変換】 ・エネルギー資源の課題や有効活用について、意見を交わすことができる。	【エネルギー変換】 ・回路図や回路計を使い、積極的に他者の部品点検ができる。	【エネルギー変換】 ・エネルギー資源の有効活用のため、省エネルギーや効果的なエネルギー活用について考えることができる。
1年	【レポート製作】 情報技術に関する基本的な仕組みなど、ネットワークの安全な利用方法について理解できる。	【情報モラルとネットワーク】 ・情報モラルとIDの管理について理解し、生活の中でも生かすことができる。	【情報モラル】 情報に関する技術に関わる倫理観を身に付け、知的財産を適切に活用できる。	【制御ロボット】 制御ロボットの機能を理解し、自ら課題を設定しプログラムを作成することができる。	【制御ロボット】 自ら課題を設定したプログラムを流れ図を用いて、積極的に説明できる。
	【デジタル作品の設計・制作】 ・スライドを活用し、原稿作成や発表者ツールを使うことができる。	【制御ロボット】 制御ロボットの機能を理解し、自ら課題を設定しプログラムを作成することができる。	【デジタル作品の設計・制作】 ・デジタル作品の設計・制作 ・アクセシビリティやユニバーサルデザインの観点から誰が見ても見やすいデジタル作品を制作できる。	【デジタル作品の設計・制作】 ・デジタル作品の設計・制作 ・アクセシビリティやユニバーサルデザインの観点から誰が見ても見やすいデジタル作品を制作できる。	
	【身の回りを整理する作品】 身の回りの製品に興味を持ち、進んで製品を調べようとする。	【身の回りを整理する作品】 身の回りの製品に興味を持ち、進んで製品を調べようとする。	【身の回りを整理する作品】 身の回りの製品に興味を持ち、進んで製品を調べようとする。	【身の回りを整理する作品】 身の回りの製品に興味を持ち、進んで製品を調べようとする。	



Global Cam-do List (高等学校 未来航路)

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
5つの資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>資質・能力の主な内容（目指す生徒像）</li> <li>世界における日本の立場や役割を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界における日本の立場や役割を理解するためにメディア等を通して情報や知識を得ようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界における日本の立場や役割について自分の意見を発信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界における日本の立場や役割について自分の意見を発信している。</li> </ul>
幅広く深い教養	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で習得した知識や技能を課題解決にいかすことができる。</li> <li>現求を分析し、グローバルな視点で課題を発見することができる。</li> <li>問題把握や課題解決に必要な情報を収集することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の学習における到達目標を知っている。</li> <li>課題意識をもって身近な事象を観察することができる。</li> <li>情報収集に必要な能力（図書館利用やICT活用等）を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で習得した知識や技能を関連づけて理解することができる。</li> <li>発見した疑問や課題をグローバルな視点から把握することができる。</li> <li>収集した情報を読み解くことにより、新たな情報を収集したり読み解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で習得した知識や技能を総合的に活用することができる。</li> <li>発見した疑問や課題を整理し、わかりやすく説明することができる。</li> <li>収集した情報を読み解くことにより、新たな情報を収集したり読み解くことができる。</li> </ul>
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的に課題の解決策を考え、評価・検証を行うことができる。</li> <li>他者と協働し、創造的に課題を解決することができる。</li> <li>自分やグループの意見を論理的に説明することができる。</li> <li>多様な人の考えや価値観を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した課題の原因や背景を理解し、説明することができる。</li> <li>課題解決に向けて、意欲的にグループに入り、意見を述べることができる。</li> <li>聞き手を意識しながら、作成した原稿を読み、説明することができる。</li> <li>他者の意見を聞いて、メモをとったり質問することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した情報を活用して、論理的に評価・検証することができる。</li> <li>課題解決に向けて、他者の意見やアイデアを受け止めることができる。</li> <li>巧みな話術を駆使して、説明することができる。</li> <li>他者の意見を受け止めたうえで、建設的に自分の意見を述べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価・検証をもとに、新たな課題を見いだすことができる。</li> <li>自他の意見やアイデアを統合して、創造的に課題を解決することができる。</li> <li>聞き手を配慮するとともに説得力に溢れた説明をすることができる。</li> <li>他者の意見や他者との意見交換によって、自分の意見を深めることができる。</li> </ul>
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを用いて、意見等を収集し発信することができる。</li> <li>課題解決に向けて明確なビジョンを示すことができる。</li> <li>メンバーとビジョンを共有することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や図などの入った資料を作成することができる。</li> <li>ICTを用いて、ポスターやスライドなどの資料を作成することができる。</li> <li>課題解決に向けて、自らのビジョンをもつことができる。</li> <li>課題解決に向けて、自らのビジョンをメンバーに示すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフ化したデータなど入った資料を作成することができる。</li> <li>自らのビジョンについて、メンバーと議論することができる。</li> <li>自他のビジョンについて、議論することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主張を効果的に伝えたり、聴衆の立場に立った分かりやすい資料を作成することができる。</li> <li>メンバーとの議論によって、自らのビジョンをより明確にできる。</li> <li>自他のビジョンを統合して、グループとしてのビジョンをもつことができる。</li> </ul>
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向けて、協働して取り組むよう働きかける意欲がある。</li> <li>メンバーの資質・能力や適性をいかすよう働きかけることができる。</li> <li>社会貢献や国際貢献の重要性について理解している。</li> <li>現代社会の諸問題を自らの課題として捉え、解決に向けて取り組むことができる。</li> <li>岡山・日本・世界の課題を解決しようという意欲がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーのモチベーションを高めるよう働きかけることができる。</li> <li>メンバー一人一人の資質・能力や適性を把握することができる。</li> <li>いまま自分が理解している、いまま自分が取り組むべき役割を考えながら、課題追究学習に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働した取組の進捗を把握し、コントロールすることができる。</li> <li>グループ内の役割分担や計画を立案することができる。</li> <li>将来の社会貢献や国際貢献のための進路目標をもっている。</li> <li>自らの取組について見直しをもっている。</li> <li>自らの取組について、いまま自分が取り組むべき解決策をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働して取り組んだ成果や手応えをもつことができる。</li> <li>メンバー全員が達成感をもつことができる。</li> <li>将来の社会貢献や国際貢献のための進路目標をもっている。</li> <li>自らの取組について、いまま自分が取り組むべき解決策をもっている。</li> </ul>
社会貢献の意識		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域の課題や特徴を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域と日本の課題をグローバルな課題と結びつけて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・日本・世界を貫く課題に対して、自らができる貢献策をもっている。</li> </ul>